



Kimura Eye &amp; Int Med Hospital

# ひかりいっぱい新聞

## 真剣なまなざしで、新入職員入社式

各人が一層の精進 そして患者様のために

理事長の涙道手術体験記 鼻涙管を流れる水に麦酒の快感

小院の海外献眼者慰霊式しめやかに／新聞で手術実績が紹介されました

理事長が広大客員教授に／事務長就任のご挨拶／ドナーバンク支援自販機



## 真剣なまなざしで、 新入職員入社式

各人が一層の精進 そして患者様のために

今年は5名の方が新たに入られ、その入社式が平成28年4月1日大会議室で行われました。

職種は、視能訓練士3名、看護師1名、医事1名の方達で、うち1名は広島市から、2名は県外からの就職です。

新入職員の宣誓、辞令交付のあと理事長は「私達は 新病院に移転し広い快適な環境を整え、最新の医療機器を駆使して、患者様のためにベストの治療をしていこうと燃えています。その時にフレッシュな皆さんを迎えることができ本当に嬉しく思っています。一方、日本の医療経済は厳しく4月から診療報酬改定の荒波にぶつかってしまいました。全員の力を結集してよりよい医療を実践していくことで乗り切っていかなければなりません。そのためにも病院の理念を胸に 各人がより一層の精進をして患者様のため、地域のために尽くしていきましょう。」と語りました。

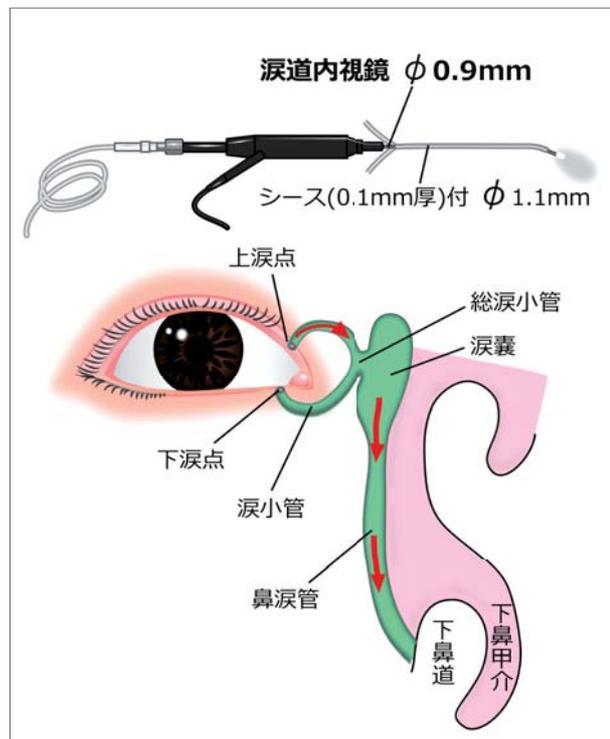
式後、理事長は、「真剣なまなざしで話を聞いていた新人達は非常に頼もしく感じられた」と嬉しそうに話していました。

## 理事長の涙道手術体験記

# 鼻涙管を流れる水に麦酒の快感

理事長 木村 徹

目に涙がたまっている感じは見え方に支障はないものとてもうっとうしいものです。実は私もこの症状にいつ頃からか悩まされて、朝診察を始めた時など左眼だけ涙が出て目頭にたまって困っていました。綿で拭き拭き仕事をするのですが、とにかく煩わしくてうっとうしいのです。



「涙道狭窄」による症状とわかっており、治せることも百も承知。しかし治療には手術が必要なので普段はほとんど無症状なので つい忙しさにかまけて先延ばしにしておりました。しかし、眼医者たる者がそんなことではいけないと、ようやく重かった腰を上げ昨年暮れに手術をすることにしました。

手術方法は「涙管チューブ挿入術」という目頭の涙点から極細のチューブを涙小管に挿入し、涙嚢を經由して鼻涙管を通していき、下鼻道まで達する方法です。細くて曲がりくねっている涙道に詰まっている箇所があればそこを押し開いて拡張し、チューブを留置して狭窄を解消します。心臓カテーテル手術にも似て繊細な技術を要し、少しでも方向を間違えると不成功に終わるので、今では内視鏡で管内を見ながらガイドを進めていきます。

いよいよ手術台に上がりましたが、普段から慣れ親しんでいる部屋に入るので何の不安もありませんでした。

眼瞼の消毒、ドレープをかけ結膜の消毒と進みますが、この消毒は眼にかなりしみました。上眼瞼に麻酔の注射をして、いよいよ涙小管へ内視鏡を入れていく操作ですが、眼瞼を横に引っ張られたと思った瞬間、すっと滑らかに入っていき感じ、何の痛みもありませんでした。最初の難関は内総涙点への到達です。ここは骨が邪魔して涙小管が複雑に屈曲していて難しい場所ですが、うまい具合にスルリと抜けたようで、何かコツとぶつかる感じがしました。しめた!ここから90°方向転換して下方奥へ進めていくのがコツと一人合点。次は鼻の穴から別の内視鏡を入れる様子。先端がきちんと出ているかどうか確認してシース(内視鏡のさや)を残して内視鏡を引き戻します。さらにシースを引っ張り出しながらそれに結びつけたチューブを涙道に引き込んでいくのです。何か抜ける感じだけで無事チューブが挿入された様子。今度は下涙点から同じ手順で操作が進みました。最後に涙点から注水して正しくチューブが入っているか確認ですが、水がサッと鼻涙管を流れていく感じは冷たいビールをのどごしに飲む感触に似て何とも心地よい感じでした。そこで平山先生の「終わりました。」の一声、時間は10分ちょっと。本当にあっという間の終了でした。

平山先生の腕が見事なのはもちろんのことですが、涙小管という内腔のほとんどないような狭い所にわずか0.9mm直径の光ファイバーを0.1mm厚の柔らかい高分子のシースで包みこんだ内視鏡は我が国の素晴らしい医療機器開発の技術で、改めて先人の努力と研鑽のおかげとしみじみ有り難いことだと感じさせられたことでした。さらに自分自身が手術を受け、患者さんの身になって小さな手術でも受ける身の気の重さリスクへの不安が少し判ったような気がして大きな勉強をさせて頂きました。



# 小院の海外献眼者慰霊式しめやかに



呉市医師会長 原 豊 先生による追悼の辞

山建築研究所所長 横山健次先生、木村徹理事長、木村亘院長、木村治副院長、および医師・職員、約50名が出席致しました。

初めに、木村亘院長より挨拶があり、国内での角膜移植の現状等も報告されました。次に原会長より追悼の言葉を賜り、出席者全員で黙祷を捧げたあと、順次献花し御霊を慰めました。最後に、病院代表で木村治副院長から挨拶があり、慰霊式は無事終了致しました。

先般、2月23日(火)、木村眼科内科病院 4階大会議室において、海外献眼者慰霊式がしめやかに執り行われました。

当院では昭和59年より現在まで746例の角膜移植手術を施行しておりますが、国内の角膜提供は不足しており、390例は海外からの角膜のご提供を受けております。海外献眼者慰霊式では、献眼いただいた方への感謝の気持ちを込め、ご冥福をお祈り致しました。

当日は、呉市医師会長 原豊先生はじめ、呉市医師会事務局長 徳本様、当院の治験審査委員会外部委員 横



出席者全員で献花

## 新聞で手術実績が紹介されました

21 13版 2016年(平成28年)4月3日(日曜日) 読売新聞 広島版

### 加齢に伴い白内障、緑内障

#### 病院の実績

164

#### 難易度高い硝子体手術

「白内障は加齢に伴って目の中の水晶体が濁り、視力が低下してきます。手術で取り除くことで視力を回復させることができます。緑内障は、目の奥の神経を圧迫し、視神経を損傷させることで視力を低下させていきます。手術で視力を回復させることができます。」

	網膜・硝子体	白内障	緑内障	角膜移植
広島	730	1397	503	44
広島大	508	2237	113	13
木村眼科内科	393	1543	106	17
福山市民	166	948	99	9
県立広島				

手術実績のある全国の主な医療機関として、読売新聞(平成28年4月3日(日)朝刊)に当院が掲載されました。当院における実績(平成27年1月~12月)は、硝子体手術508件、白内障手術2237件、緑内障手術113件、網膜剥離への強膜内陥手術13件と、広島県内でも多くの件数を実施しております。



# 理事長が広大客員教授に

## 皆様のお役にたつべく さらに精進して参ります

昨日4月25日、突然 広島大学から「客員教授」に任命するとの連絡を受け、以前から長く臨床教授、非常勤講師などお手伝いさせていただいてきましたので受けさせていただきます。

思えば昭和53年、呉の小院に帰って以来、ずっと毎年医学部の学生講義を受け持たせていただいております。

講義は視覚電気生理学、脳神経の可塑性、最近では眼球運動の基礎と臨床などなど、神経眼科学を中心にあれこれ話をさせていただいてきました。その中で専門知識の他に、一先輩開業医として、医師になる人達は 社会人としてまず時間を守りなさい、服装をきちんとしなければなど アドバイスもさせていただいた覚えもあります。

たとえわずかな時間でも学生諸君と接することは私にとっては楽しいことであり、また自分自身が学問への情熱を忘れることのないようにの思いもありました。

最後に私のこれからの病院での仕事はかわらず続けていくつもりですが、これを機に患者様のお役にたつように更に精進して参りたいと存じます。



理事長 木村 徹

## 事務長就任のご挨拶



事務長 小田 知秀

わたくしは、昭和63年10月に入社し、当時医事課に配属になり、その後検査課、半年足らずではありましたが眼鏡店勤務、総務・経理課と貴重な経験を積ませて頂きました。この経験を糧に事務長として職責を果たさなければと思っております。

宝町の新病院へ移転し、電子カルテの導入で患者様には長時間お待たせしたり施設の不備でご迷惑をお掛けしましたが、日々 改善に努めてまいりました。これからも皆様のご要望やご期待に応えて、サービス向上に職員一同力を合わせてまいります。皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## ドナーバンク 支援自販機

皆様の購入される1本が、ひろしまドナーバンクを支え、移植医療への普及啓発活動の資金として活かされます。

院内に設置されているひろしまドナーバンク支援型自販機を通じて、H27年10月～今年3月の半年間でご寄付頂いた金額は、155,212円（H23年5月からの累計金額2,110,959円）でした。

皆様からの温かいご支援・ご協力に心より厚くお礼申し上げます。



医療法人社団ひかり会

### 木村眼科内科病院

〒737-0029 広島県呉市宝町3-15

TEL : 0823-22-5544 [代表]

0823-21-1000 [病棟専用・夜間・休日]

FAX : 0823-25-9010

<http://www.kimura-eye.or.jp/>

医療法人社団ひかり会

### 焼山木村眼科

〒737-0935 広島県呉市焼山中央1丁目10-9

TEL : 0823-33-8259

FAX : 0823-33-8279

木村眼科

検索

できます。